

令和8年7月18日「みんなで考える これからの学校とまちのかたち」

足助地区 住民説明会 質疑応答・意見要旨

①学校再編の方針に関するご質問・ご意見

No.	ご意見の受け止め	回答
1-1	本事業は完了まで何年かかる想定で検討しているのか。	イメージとしては、5 年程度かかると想定し検討しております。他方で、教育環境の問題は、早急に対処すべき問題であると認識しており、来年度までに決定を目指す再編の方向性にもとづいて迅速に対応できるよう努めてまいります。
1-2	小学校の児童確保という観点では、豊田市には小規模特認校制が有効ではないか。市としては、本制度を用いて都市部の児童を呼び込むことは考えているのか。	いただいたご意見を踏まえながら、本事業の具体的な検討を進めていきます。
1-3	説明資料では、令和10年度以降に開校に向けた準備協議会が始動すると記載がある。しかし、児童数の減少はすでに学校行事の運営などに深刻な影響を与えており、迅速に進めるべきだと考える。現在、想定している進め方で本当によいのか。	本事業は可能な限りスピード感を持って進める必要があると考えておりますので、早期に進めることができるものについては、随時対応できるよう努めてまいります。
1-4	豊田市ではすでに統合や休校になった学校の事例が存在するが、その後、統合が行われた地域の住民がどういう思いで過ごしたのかを知りたい。こうした情報があれば再編の流れをイメージしやすいのでぜひ共有してほしい。	いただいたご意見を踏まえて、過去に豊田市で学校再編した地域の状況については今後の対話の機会に適宜紹介できるように努めてまいります。
1-5	今回の説明会では再編の方針が聞けると考えていたが、具体的な方針が聞けなかった点を非常に残念に思う。自分の地域でも、送迎の負担軽減の点などから小学校の統廃合に賛成する保護者が非常に多い。しかし、現状の計画では再編に 5 年以上かかると聞いており、現在の保護者世代には効果を感じられない点を懸念している。現状の検討では危機感がまだ足りてないのではないかと感じる。	市としても様々な課題を感じる皆様の思いに応えるために少しでも早く取組を推進したいと考えておりますので、早期に進めることができるものについては、随時対応できるよう努めてまいります。
1-6	再編の方針が示されなかったことを残念に感じている。学校再編をめぐる状況や人口動態は以前から分かっていた内容であるため、本来であれば 10 年ぐらい前からスタートしなければならなかったのではないかという思いを抱いた。	本事業は可能な限りスピード感を持って進める必要があると考えておりますので、早期に進めることができるものについては、随時対応できるよう努めてまいります。

1-7	今回の説明では、「コミュニティ」というキーワードが出ていたが、現状コミュニティスクールやコミュニティ会議をはじめ地域内での「コミュニティ」という言葉の定義・範囲が整合していない印象を受ける。今後、この地域ではコミュニティの捉え方を見直し、整理したうえでわかりやすく提示する意向はあるのか。	いただいたご指摘を踏まえ、コミュニティの定義や捉え方についても改めて検討したいと考えています。
1-8	今回の説明を踏まえると、小中一貫校が将来的にできると感じたが、このイメージは市の方向性として合っているか。	市としては、小学校と中学校が連携し、系統性を持たせることで小学校から中学校まで一貫したような学びができる環境にしたいと考えております。小中一貫校も一つの手段としてはあり得ると認識しておりますが、具体的な形につきましては、今後ヒアリングやワークショップでいただいたご意見も踏まえながら検討を進めていきます。

②検討の進め方に関するご質問・ご意見

No.	ご意見の受け止め	回答
2-1	説明資料では、9 月にヒアリング会を地区別に開催とあるが、令和 9 年度は実施しないのか。	その後の開催方針については地域の皆様のご意見を伺いながら、検討していきます。
2-2	教育環境に関するワークショップの対象参加者は誰を指しているのか。地区別のヒアリングとの関係性がよく分からなかった。	ワークショップは、各地区の保護者世代や代表の方に参加いただく場として考えています。現状、令和 8 年度に 3 回程度開催予定であり、令和 9 年度も継続的に開催する想定となります。検討状況はかわら版という広報誌で周知します。またご意見箱の設置なども含めて皆さんの意見をお伺いする場を適宜設けたいと考えています。
2-3	地域全体の意見を細やかに聞くためにはアンケートが必要ではないか。	地域住民の皆様の皆様のご意見については、ワークショップおよびヒアリングに限らず、様々な場を設けたいと考えております。いただいたご意見を踏まえながら、ご意見を伺う機会に関しても検討を進めていきます。
2-4	今回の学校再編については、自治区ごとに方針を決定することになるのか。また、想定されているスケジュールは全小学校区で統一的に実施する方針なのか。	学校の再編方針は、最終的に皆様のご意見を反映したうえで市が責任を持って決定したいと考えております。検討の進め方につきましては、今後各小学校区でいただいたご意見を踏まえながら、具体的な検討を進めていきます。
2-5	学校再編は、こどもたちの将来だけでなく地域全体に大きな影響を与える事業であるため、できるだけ多くの住民が議論・意思決定に参加できる仕組みを作ってほしい。現段階での検討内容ではワークショップの進め方も不明瞭	本事業は、ワークショップだけを通じて、学校再編の方向性を作り上げるわけではなく、地域の皆様からご意見をいただく場を様々な形で設ける形で考えております。いただいたご意見を踏まえながら、具体的な進め方に関する検討を進めていきます。

	であり、多くの住民が関わらない形で検討が進むことを懸念している。	
2-6	現状、学校再編に関する情報発信が不十分であると感じている。だからこそ、なるべく多くの住民と話し合う機会が必要だと考えるが、その方法として住民アンケートの実施は考えているのか。	地域住民の皆様のご意見については、ワークショップおよびヒアリングに限らず、様々な場を設けたいと考えております。いただいたご意見を踏まえながら、ご意見を伺う機会や周知の方法に関しても検討を進めていきます。
2-7	説明会の会場には現役の子育て世代の参加者が少ないと感じる。市として、今回の説明会にあたって現役の子育て世代に対する訴求の方法やアプローチが十分であったと考えているのか。	今回の開催案内は、回覧板での周知に加え、学校・こども園にも案内を行いました。周知が十分ではなかった部分もあると認識しております。いただいたご意見を踏まえ、周知の方法に関しても検討を進めていきます。

③こどもの通学環境に関するご質問・ご意見

No.	ご意見の受け止め	回答
3-1	こどもの通学路で落石が散見される。こうした危険個所に関する定期的な見回りを求めたい。	現在も日常的な見回り・パトロールを進めておりますが、より一層柔軟に対応できるように努めてまいります。また、通学路の危険個所に関しては、学校から市へ危険箇所の通学整備要望を提出できる仕組みを設けており、こちらの仕組みを通じた学校と市が連携した体制の構築を進めてまいります。
3-2	今後、学校統合が行われた場合、遠方の学区から通学する児童に向けてスクールバスの運行は想定しているのか。	通学環境の確保は配慮すべき重要な事項と認識しており、今後ヒアリングでいただくご意見も踏まえながら具体的な検討を進めていきます。

④こどもの安全確保に関するご質問・ご意見

No.	ご意見の受け止め	回答
4-1	熊の目撃情報が全国的に増加しており、足助地域においても熊の出没は今後起こり得ると考えている。市として、どのような対策を講じる意向なのか教えてほしい。	熊対策など新たに対応を検討すべき事項については、学校および地域の皆様と連携しながら対策の拡充に努めてまいります。

⑤こどもの教育環境に関するご質問・ご意見

No.	ご意見の受け止め	回答
5-1	足助には足助町だけでなく、阿摺や賀茂、盛岡など独自の文化を有する地域が数多く存在する。今後、学校再編が進む中で、こうした文化にこどもたちが学ぶ機会がなくなることを懸念している。こうした観点で、教員の方々にこうした地域文化をどう伝え、教えてもらうべきだと考えているのか。	市としても今後、学校は地域に開かれた存在でなければいけないと考えており、地域の特色を生かした教育をどのように取り入れるべきかは、非常に大事な視点だと考えております。いただいたご意見を踏まえながら、本事業の検討を進めていきます。

5-2	中学校では、今年からとよた地域クラブ活動が本格的に始動したが、中山間地域では人手不足で高齢者の方がコーチに入らないと部活動が成り立たないという都市部と異なる状況がすでに生じている。この状況を市としてどのように考えているのか。	とよた地域クラブ活動は、各地域の方々の協力をいただきながら進めておりますが、市全体としても各校のニーズをしっかりと受け止めながら、人員配置についても検討を進めていきます。
5-3	全国では新たな教育プログラムを取り入れている学校も存在する。本地域では今後、こうした事例を踏まえて、どのような教育プログラムを取り入れたいと考えているのか。	現在、市内でも全国の事例などを研究しながらどういった教育環境が望ましいのかという視点で検討を進めており、地域の皆様のお話も伺いながら、具体的な検討を進めていきます。
5-4	学校のあり方を見直すうえで、教員の方々にもその方針や意義を認識いただくことが重要になると考える。この点についてはどのように進めたいと考えているのか。	市としてもその重要性は認識しておりますので、いただいたご意見を踏まえて、各校とも情報共有を行ったうえで一緒に議論しながら検討を進めていきます。

⑥足助地域におけるまちづくりに関するご質問・ご意見

No.	ご意見の受け止め	回答
6-1	足助には高齢化で手入れができずに荒廃した土地や放棄地が多く存在する。環境保全の視点で行政から草刈りの補助等の施策を行う想定はあるか。	耕作放棄地の拡大は市としても課題であると認識しております。引き続き解決に向けた施策の検討を進めていきます。
6-2	重伝建エリア関連事業・観光事業・地域提案型事業以外で足助支所として確保している予算がどの程度あり、それが地域へ向けてどのように活用されるのか教えてほしい。	具体的な予算配分については、この場でお伝えできる情報を持っていません。足助地域全体では市有林伐採や道路整備・わくわく事業等の地域支援事業等に取り組んでおり、こういった事業の全体像について周知できればと考えています。